

金曜ウォーク@宇部

上関原発はいらない！原発ゼロへ！

2021/07/02（金）466回 since 2012.08.12

資料と意見 No.007 発行：いのち・未来うべ

上関原発は、いらない！田ノ浦の現地へ行こう！

海岸の砂遊び、海辺の岩と生物の観測、参加希望のかたは、連絡ください。

小中進さんオフィシャルサイト

⇒ <http://blog.konaka.sunnyday.jp/>

~~~~~

## 基本から知る上関原発、連続オンライン学習会

◎第3回 7月3日（土）午後6時～8時

お話し：熊本一規さん（明治学院大学名誉教授） 詳細は裏面に。

講演 「上関原発と漁業権」

熊本一規さんのホームページ <http://www.kumamoto84.sakura.ne.jp/>

.

※ZOOMで行います。申し込みは、フェイスブックのメッセージで岡本正彰さんにお問い合わせします。または、メール [mottomotookamoto@themis.ocn.ne.jp](mailto:mottomotookamoto@themis.ocn.ne.jp) へ。※を@に変換してください。参加無料。

## いのち・未来うべ 会員を募集中です

私たちは、原発のない社会を求める市民グループです。2011年3月11日の福島原発過酷事故の1年後、2012年3月18日に宇部市で開催された「小出裕章さんのお話を聴く会」が母体です。ストップ上関原発！地域から声をともにあげましょう。

○金曜ウォーク 毎週金曜日午後6時 宇部市役所前に集合、情報交換とアピール。

連絡先：〒755-0029 山口県宇部市新天町1丁目2-36 宇部市民活動センター「青空」

いのち・未来うべ 電話 080-6331-0960（安藤公門）

# 上関町 田ノ浦の海岸へ行きましょう！

安藤 公門 （あんど う きみと）

「上関原発はいらない、つくってはいけない」。

6月29日、中電が勝手にボーリング調査の準備を始めるというこの日、せめて「原発に反対」の気持ちを伝えようと、宇部から5人で行きました。

「草が多いのでは」と鎌を持って行きましたが、小中さんと地元のみなさんが草刈りと道の整備をしてくれていました。お蔭で重度障がい者の岡本正彰さんも汗びっしょりになりながらも下り、上りできました。途中のベンチもありがたかったです。

田ノ浦の海岸からは、中電の「お願い船」の姿が見えました。「ボーリング調査の準備工事をさせてください。」と舳先に身を乗り出し懇願するので、それで「お願い船」と呼ばれるようになりました。中電の幹部は、社員にこんな恥ずかしいことを（しかも危険の伴う）させてどうも思わないのでしょうか。人は理屈の伴わないことをさせられると身も心もボロボロになってしまいます。

中電の社長は「不断に原発の安全性を追及する」と言います。それって、原発は福島事故が全世界に示したように、事故を起こす危険なものだと自分から言っていることですよ。しかも、祝島の漁民には、海の埋立も、ボーリング調査も、相談も了解もとっていない理不尽さです。29日の「準備作業」も許可をとっていない日の違法な行為です。

田ノ浦海岸には、祝島の漁船から橋本典子さんと岡本直也さんがカヤックできて海上の様子を報告してくれました。そして私たちに感謝の言葉を言ってくれましたが、感謝すべきは私たちです。海を守り、いのちを守るために原発を跳ね返している祝島のみなさんには、どんな感謝の言葉ありません。そして私たちは、漁民のみなさんが自分たちの権利をどのようにして主張し守っているのかを目の当たりにみて教えられています。いろいろな市民運動に、労働者は労働者として、農民は農民として、コロナ拡散オリンピックという理不尽さに怒っている人も、それぞれ、祝島から学んでいます。黙ってはいけないのだ。現場で声を出すのだ、と。権利は、使い活かすものだ、と。

私たちは、オンライン学習会に力を入れつつ、同時に、なによりも現場が大切だと考えます。みなさん、一人でも多く田ノ浦に行って、県民世論の大きさを示しましょう。